

図書館

文化センター 1階  
☎98514140

ふるさとライブラリー  
案内

◆課題図書貸出  
7月1日から、  
青少年読書感想文  
全国コンクールの  
課題図書(全18冊)  
の貸出を開始しま  
す。



◆7月の展示コーナー「愛媛いろいろ再発見」  
6月に引き続き、愛媛出身作家の本や愛媛の  
関連本をたくさん展示しています。ぜひ、手に  
取ってご覧ください。

おはなしかい

日時 7月11日(土)  
11時～11時50分  
(開場10時)  
場所 文化センター2階  
第2研修室

小さいお子さんから大人まで楽しめる  
「おはなしかい」。ぜひ来てみてください。

7月のふるさとライブラリー

○開館時間 9時30分～19時  
○休館日 7月31日(金)  
<http://www.masaki-bunka.jp/>

東公民館

神崎210  
☎98411159

北伊予校区  
青少年育成会総会



5月25日、北伊予校区青少年育成会総会を開催  
しました。活動目標を「地域ぐるみで、青少年の健  
全育成と健全な家庭づくりの推進を図る」として  
いる青少年育成会。家庭、学校、地域社会が持つ育  
成機能を十分に発揮し、それぞれの分野で調和と  
連携を保持した育成活動を進めることを確認しま  
した。  
研修では映画『ネットいじめ—ひとりで悩まな  
い—』を視聴。ネットや携帯電話の使い方や学習  
し、ネットでもいじめは絶対に許されない犯罪行  
為だと再認識しました。この映画は、夏休み前に北  
伊予校区の各分館と育成会支部が合同で開催する  
分館家庭教育学級(9地区)の会場でも上映する予  
定です。多くの人の参加をお待ちしています。

News

子育てをいつも応援  
子育て支援コーナーを常設

4・5月の特集展示で、皆さんに大好評だっ  
た「子育て支援コーナー」を児童書近くに常  
設しました。

▷出産や子育ての悩みや不安に応える本  
▷子どもたちの「食・生活習慣・防犯・学習・  
運動・思春期・あそび」に関する本など、  
さまざまな視点で集めた、子育てを支援す  
るおすすめの本をたくさん用意しています。  
皆さんぜひご利用ください。



西公民館

北黒田966-2  
☎98415313

愛護部全体学習会



5月13日、愛護部全体学習会を実施しました。  
今年講師にファイナンシャルプランナーの宮上  
信也先生を迎え、「終活」始めてみよう！  
いつから？ 何からはじめる？」と題して講演  
を行いました。  
「いつから？」については、早過ぎ・遅すぎは  
ない。いつ始めても思いついたら吉日！とい  
うこと。「何からはじめる？」については、①資  
産の整理や処分などの生前整理 ②医療や介護  
葬儀などに対する希望の伝達としてエンディング  
ノートの記入 ③争族・争続させないための事  
前準備として遺言書の作成ということを学びま  
した。最後に日本の相続制度や遺言書の作成状  
況の紹介もあり、とても有意義な学習会でした。

包括支援センター

福祉センター 2階  
☎98514205

かくれ脱水

本人や周囲が気付いておらず、有効な対策が  
取られていない脱水症の初期状態を「かくれ脱  
水」といいます。

脱水症は進行するまで症状が現れにくいで  
す。そのため、脱水症患者の多くは、発症して  
から数日経過した中度以上の状態にあり、命の  
危険を伴います。脱水症を防ぐには「かくれ脱  
水」の段階で対策を取る必要があります。

◆脱水症状のサイン

- ・首筋がべたべたしている
- ・元気がない
- ・めまいや立ちくらみ、少しふらふらしている
- ・足がつる、頭痛などの症状

◆脱水症の予防

- ①こまめな水分補給
- ・1日 1.5～1.6ℓの定期的な水分摂取
- ・汗をかいたときは、スポーツドリンクや薄い食塩水(1ℓに1～2gの食塩)が効果的
- ・スポーツや屋外作業の前後とその間、入浴や就寝前後に水分摂取
- ②暑さを避ける
- ・12時から15時ごろの外出を避ける
- ・首にスカーフを巻き、体温調整する
- ・屋内の風通しをよくする
- ・夜間、扇風機や冷房を使い、適温を保つ

北公民館

昌農内456-1  
☎98417529

岡田校区  
青少年育成会総会



5月22日、岡田校区青少年育成会の総会を開  
催し、地域の関係団体をはじめ、多くの役員の  
皆さんが参加しました。  
研修では、30年以上にわたって特別支援教育  
に携わってきた伊予市教育委員会の岡本香澄先  
生を迎え、「発達障がい者との関わり」と題して  
講話を行いました。先生からは「障がいを正しく  
理解することも大切であるが『その人自身』のよ  
さを理解することの方がもっと重要である」との  
話がありました。さらに、人間関係を良好に構  
築していくための関わりもあり方も学びました。  
これらは、青少年に寄り添う立場である参加  
者一同に通じることであり、自分のこととして  
受け止められるよい機会となりました。